

光量子センサー CLI-190R

概要

CLI-190R 光量子センサーは CLI-190SB センサーの後継機で、マイクロロガー C-CR1000、C-CR850 などに接続し、太陽光全波長の内、植物の光合成に主に利用される 400~700nm の波長 PAR (Photosynthetically Active Radiation) を計測します。標準ケーブル長は 11ft (約 3.3m) です。

下のドーム型は上記光量子センサーを日射計と同じケースに封入したものです。降雨と湿度の影響からセンサーを保護するので劣化を防止します(乾燥剤入り)。



光量子計 CLI-190R
水平ベースはオプション
(CLI-2003S)

仕様

測定範囲	400 to 700 nm
校正	±5% NISTトレーサブル
出力	代表値:5-10μA/1000μmoles s ⁻¹ m ⁻²
直線性	1% (範囲:10,000 μmoles s ⁻¹ m ⁻²)
シャント抵抗	604Ω付属(0.1% 25ppm)
安定性/応答時間	<±2%/year / <1μs
温度依存性	0.15% / °Cmax
コサインエラー	82° までの照射に対して補正
動作温度/湿度範囲	-40 to +65°C / 0 to 100%
測定素子	高安定シリコンフォトダイオード
筐体/大きさ/重さ	防水アルマイト、アクリル拡散板付/23.6φx36.3Hmm/84g



防水防湿ケース入りの
光量子センサー
CLI-190R-WC

概要

本器は太陽電池セルが3面(東西と北極星方向)についており、日照を割り出しています。日照とは太陽の直達日射(いわゆる、日射)が観測される時間で、0.12kW を閾値とします。高曇りなど、直達日射がなくても散乱日射のみで0.12kW を越える場合があります、これが日射計を用いた日照時間計算値との誤差になります。

仕様

出力	20mV/0.12kW
ロガー測定レンジ	2.5V 以上(0.12kW 以上では上記以上の出力がでます)
センサー/センサー保護	シリコンフォトダイオード/不活性ガス ガラス封入
精度 / 使用環境	±10% / -20°C~+50°C
重量 / 外形寸法	約 2kg / 80φ×210L(コネクター含まず) 最大径:110φ
付属品	本体、固定金具、支柱、コネクター付ケーブル

日照計 CIS-162



照度センサー

CAP-SE-100 / CAP-SE-202/205/212/215

概要

経済的でありながら、入射角特性、精度、耐久性に留意した製品です。コネクター接続なので、保守が容易になっています。

特徴

- ・ 小型・軽量
- ・ 水平調整台を用意(オプション)
- ・ 経済的



型式	CAP-SE-100-SS
測定範囲	0-150,000Lux
出力	0-200mV / 0.001mV/Lux
係数	1000Lx/mV
繰り返し性/安定性	<2%/year / <2%/year
非直線性/応答速度	<1%/year / <1ms
波長特性/視野角	CIE 1931 / 180°
コサイン特性	±2%at45° : ±5%at75°
温度特性	<-0.1%/°C (-10~+50°C)
動作温度	-40-70°C / 0-100%RH
寸法/重量	30.5φx 36.6mmH / 51g
ケーブル	5m(標準)コネクタ付属